

特集

「栃木県青少年育成県民会議表彰」優良青少年団体の紹介 ～黒磯北中学校ボランティア部～

私たち黒磯北中ボランティア部は、学校が創立してまもなく創部されました。創部当初は主に校内の奉仕活動を行ってきましたが、平成24年度より日頃からお世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを伝えようと、地域貢献活動を中心に活動の内容を広げてきました。

活動の前には、まず部員全員で話し合いを行います。「中学生にできること」「地域のためにできること」にはどんなことがあるかをみんなで考えます。出てきた意見について話し合い、折り合いをつけながら内容を決定していきます。決めていく過程を通して、目的や内容を共有し、部員が一丸となって活動することができ、目的を達成できると考えています。



これまで行ってきた活動のいくつかを紹介します。

保育園訪問では、園児にとって簡単でわかりやすいもの、興味・関心が持てる内容で限られた時間の中でできる活動を決めていきます。工作を行うときには、訪問する時期にふさわしいものや人気のキャラクターをテーマにします。他にも、絵本の読み聞かせでは絵が大きくてわかりやすいものを、外遊びではルールが簡単で一緒にできるものを実施するなど工夫しました。初めて会う私たちに園児たちは無邪気に声を掛けてくれ、活動の終わりの頃になるとすっかり打ち解けて楽しく活動できました。

高齢者施設訪問では、リコーダー演奏や合唱の披露、おしゃべりを通して、高齢者の方々と楽しく交流したいと考え計画しました。楽曲は、高齢者にもなじみのある文部省唱歌や昭和の時代に流行した歌謡曲をもとに選曲します。曲が決まると各自で練習し、訪問前に全体でリハーサルをして本番を迎えます。演奏中に高齢者の方々が一緒に歌ってくれたり、涙ぐんだりするのを見ると、私たちの心も熱くなりうれしい気持ちがこみ上げてきました。

また、地域の方々から声をかけていただき、地域の行事でボランティアスタッフとして活動する機会をいただきました。コミュニティ運動会では、用具の準備・片付けや招集の呼びかけ、人数が足りない自治会の選手として参加しました。未就学児の徒競走では、走り終えた子供たちに賞品を渡しました。無邪気に喜んで受け取る子供たちの姿を見て、こちらもうれしくなりました。「高齢化のため参加する人数がだんだんと減っていく中で、地元中学生の協力はありがたい」とコミュニティの代表の方から感謝の言葉をいただきました。コミュニティの夏祭りでは金魚すくいを出店し、祭りを盛り上げようと頑張りました。今年度は、市の図書館で子供たちに読み聞かせを行ったり、学童クラブのお祭りを出店の手伝いをしたりと活動の機会が広がりました。

地域での活動を通して、私たちはいろいろなことを学ぶことができました。これからも「中学生にできるボランティア活動」「地域のためにできる活動」を実践していきたいと考えています。

